

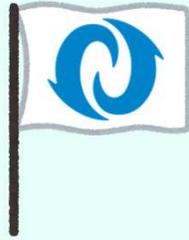
野村インベスター・リレーションズ株式会社
個人投資家様向けIRセミナー



内外トランスライン株式会社
東証一部 9384



会社概要



内外トランスライン株式会社
設立

1980年

(2020年/40周年)



2020年度連結売上高

222億円



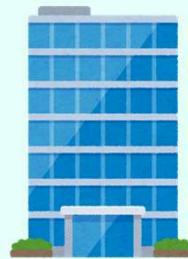
連結従業員数

644名※



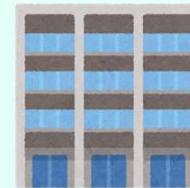
単体従業員数

212名※



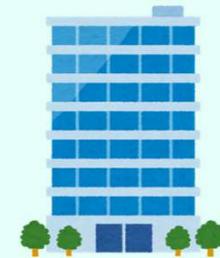
国内事業所数

6拠点



国内
グループ会社

2社



海外
グループ会社

12社

※ 2020年12月末現在

貨物輸送の区分

当社グループにおけるビジネス

国際・国内	輸送手段	輸送手段の保有	作業区分・作業内容
国際物流	船舶 (海上)	無 ⇒ 利用運送業者 <ul style="list-style-type: none"> - フォワーダー - NVOCC(*) - 航空フォワーダー 	輸送・混載 (LCL) ・フルコンテナ輸送 (FCL) ・国内外配送 ・内航海運
	航空機 (航空)	有 ⇒ 実輸送業者 <ul style="list-style-type: none"> ・船会社 ・航空会社 ・鉄道会社 ・トラック会社 	荷役・仕分 ・入出庫 ・コンテナ(トラック)積降
			輸出入通関
			梱包

協力会社による対応

国内物流	鉄道・トラック (陸上)
------	-----------------



流通加工・検品、検針 ・補修 ・タグ付、値札付
物流情報・カーゴトレース ・流通在庫
保管

(*)NVOCC : Non-Vessel Operating Common Carrier



事業種目

フォワーダー(利用運送事業者)

船舶や航空機を所有せず、船会社や航空会社のスペースを借りて利用し、お客さまの貨物を海上及び航空輸送する事業者です。
そのなかで特に海上輸送を行う利用運送事業者を
NVOCC (Non-Vessel Operating Common Carrier) と呼びます。

荷主様

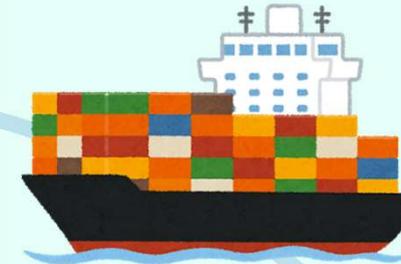
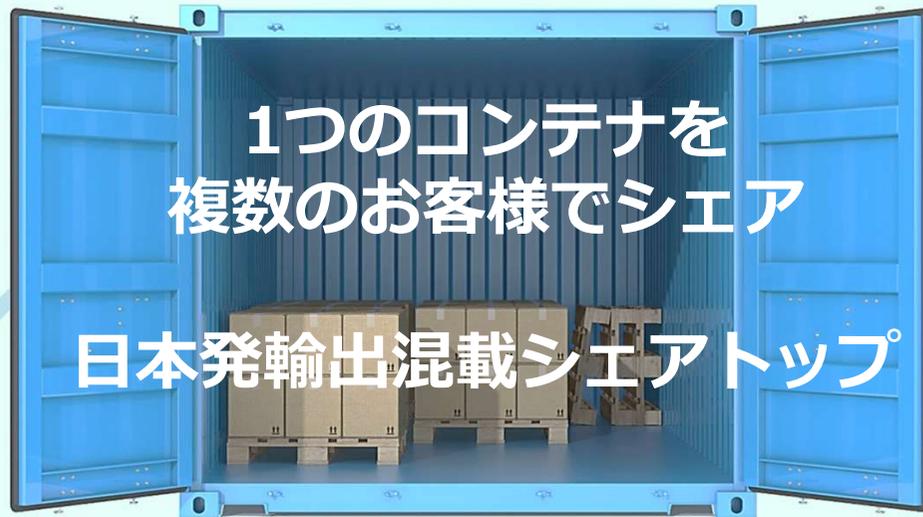


実運送業者

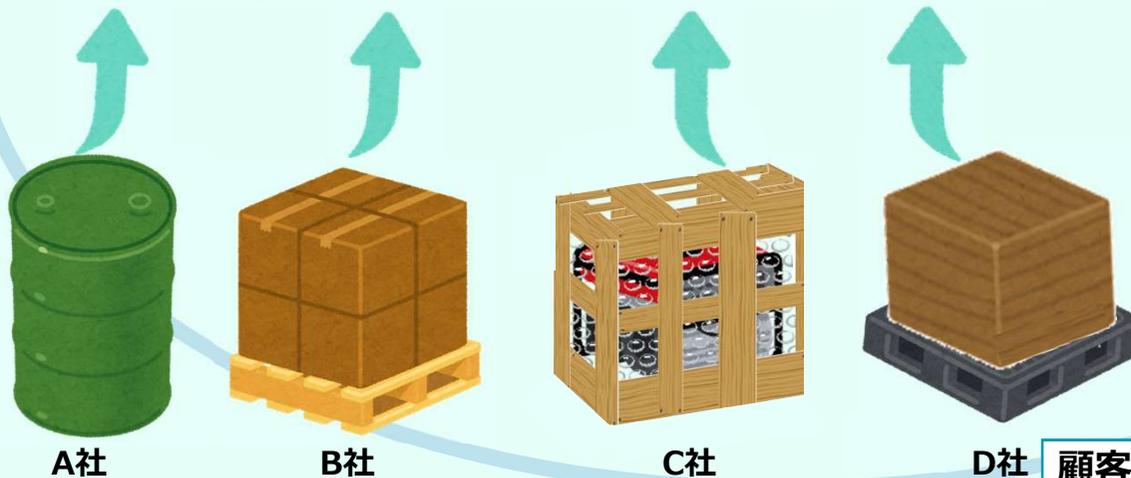


輸送のコーディネーター

混載輸送 (LCL)の仕組み



船会社への運賃支払は
コンテナ単位



コンテナに積載する
荷主数・物量が
収益機会に直結

顧客への運賃請求は、RT*単位
効率良く積載することで売上額に直結

RT* 容積1m³または重量1tを1RTとして換算し、
いずれか大きい方を適用して運賃を算定する

LCL: Less than Container Load

混載貨物の積載例



積載効率を上げることにより
環境に優しく、
当社の利益率向上にもつながります。



出港時のコンテナ内

1



2



3



様々な形態の貨物を作業倉庫で
効率良くコンテナの奥から手前まで積載



到着地でコンテナから貨物を取り出す作業



内外銀山釜山倉庫

1



倉庫にコンテナを横付

2



コンテナを開封

<積地・揚地で収益確保>

- ・積地：コンテナ積み込み作業
海上運賃・輸出通関・梱包
- ・揚地：コンテナ取り出し作業
輸入通関・配送

コンテナ船とは？

船名：ONE COLUMBA

主要寸法：全長364.15m × 船幅50.6m

総トン数：145,647 t

載貨重量トン数：138,611 t

建造年：2018

20フィート（6メートル）の長さのコンテナを
14,000本積載できます
(提供：OCEAN NETWORK EXPRESS)



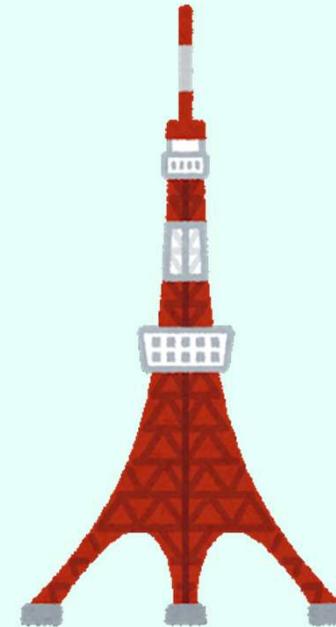
日本の貿易に占める海上貨物の割合は、
トン数ベースで99.6%(2019年)

海運は、わが国の貿易に不可欠な輸送手段
であり重要なインフラです。

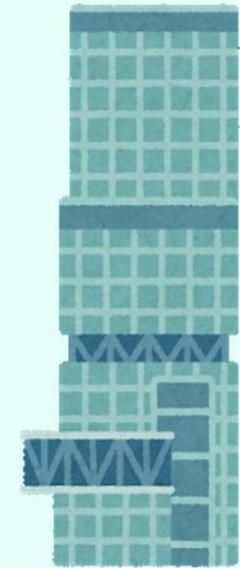
(出典：公財 日本海事センター/Shipping now 2020-2021)



ONE COLUMBA
364メートル



東京タワー
333メートル



あべのハルカス
300メートル

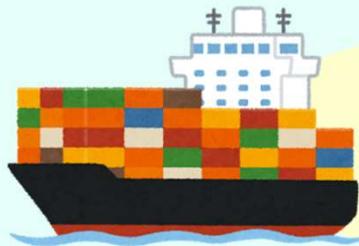
当社グループのビジネス



航空輸送



トラック輸送



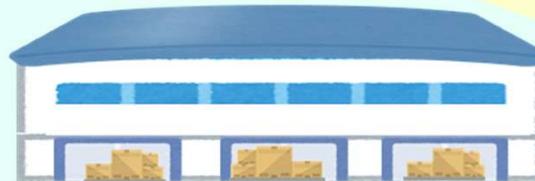
コアビジネス
海上輸送



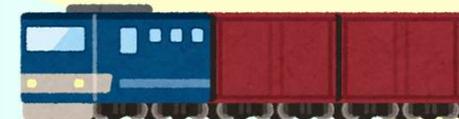
通関



梱包

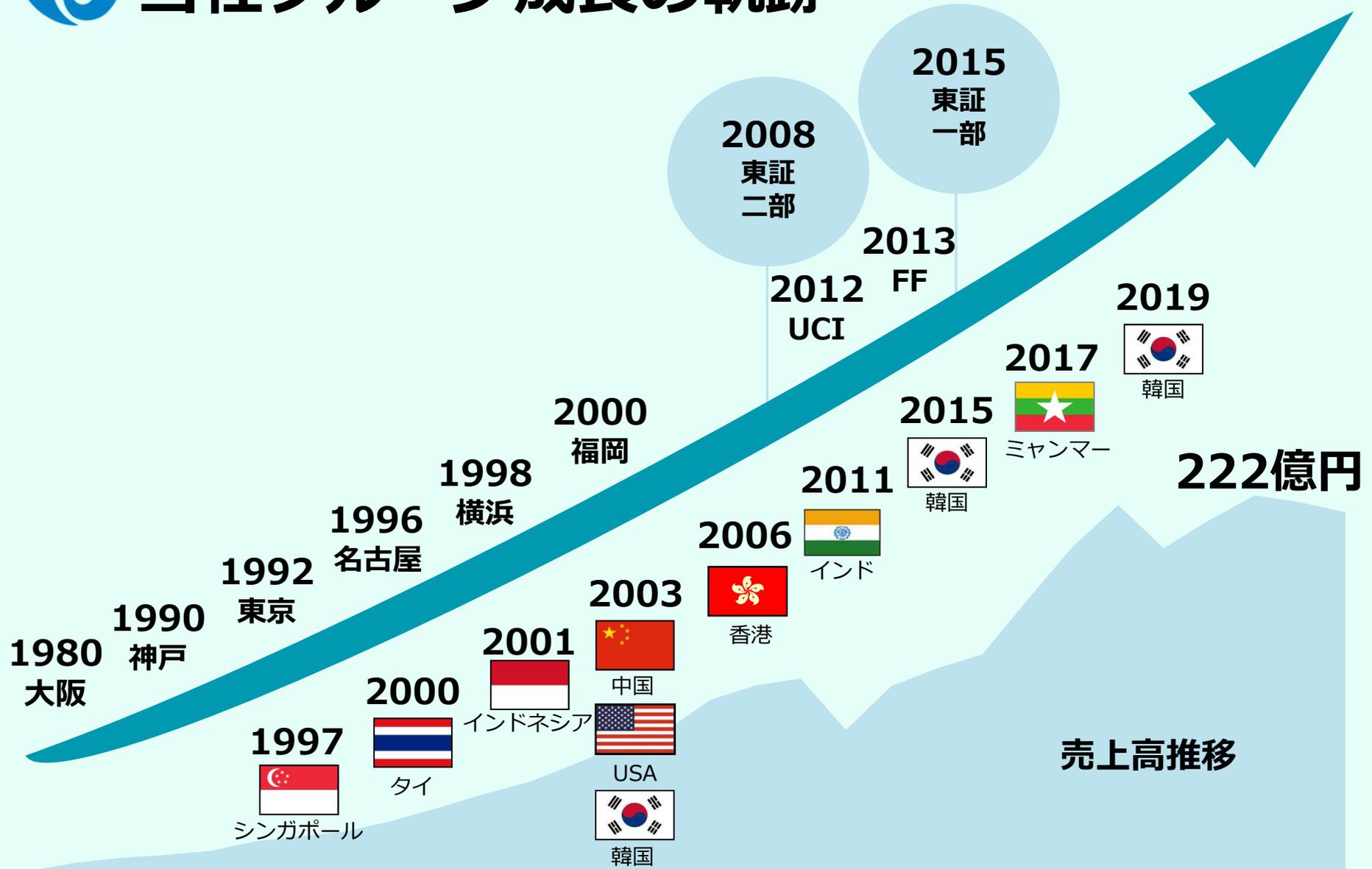


倉庫保管・
在庫管理



鉄道輸送

当社グループ成長の軌跡

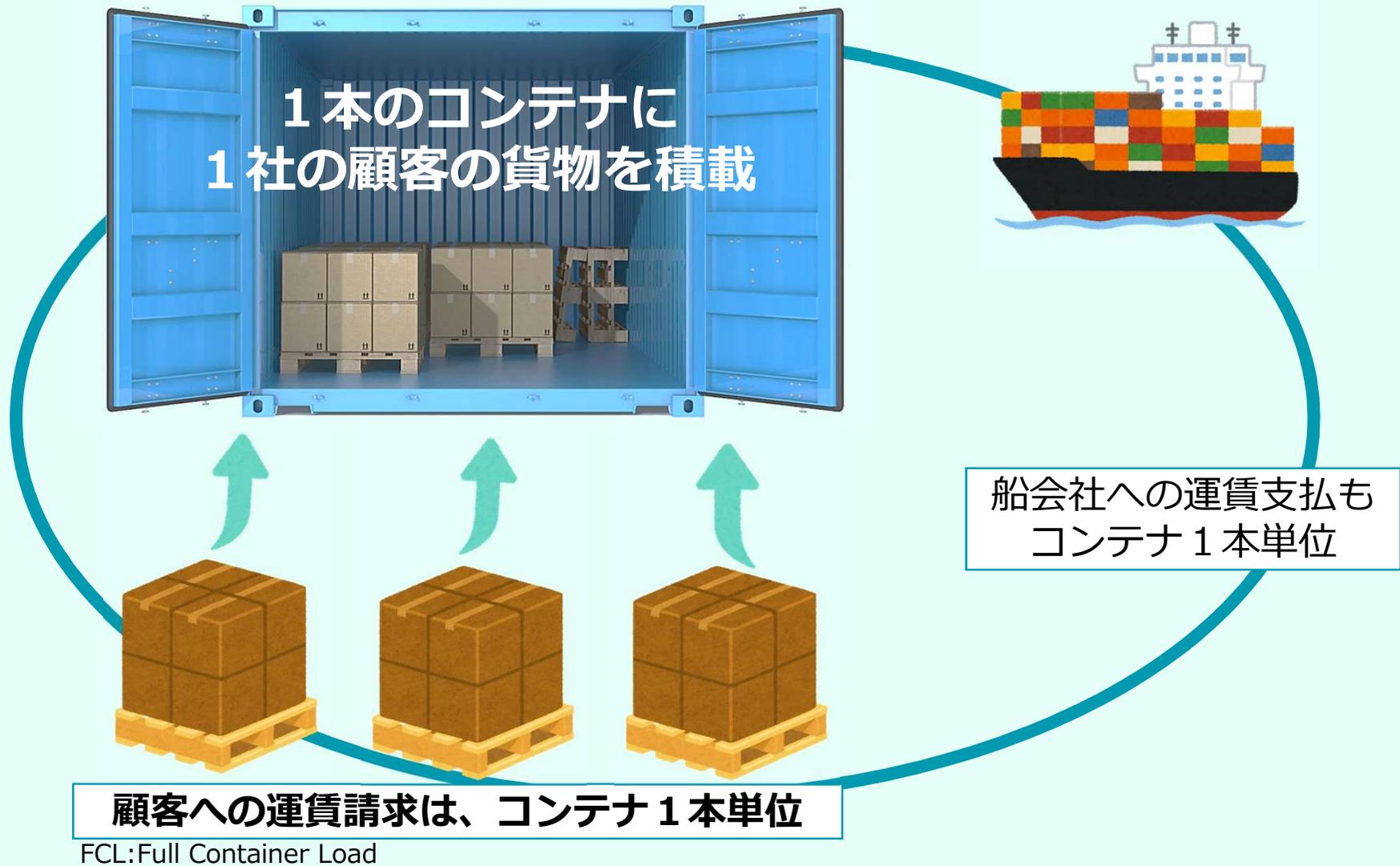




当社輸出混載取扱い品目 トップ5 (2020)

順位	当社全体	京浜港積み	阪神港積み
1	機械・部品	機械・部品	機械・部品
2	化学品	化学品	化学品
3	プラスチック製品	プラスチック製品	繊維製品
4	雑貨	雑貨	プラスチック製品
5	繊維製品	自動車部品	雑貨

フルコンテナ輸送 (FCL)の仕組み

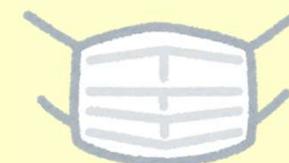
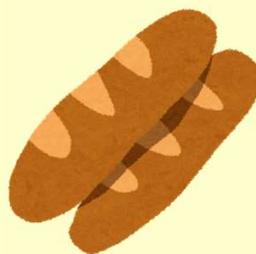


当社輸出フルコンテナ取扱い トップ5(2020)

順位	日本	京浜港積み	阪神港積み
1	鉄鋼・非鉄製品	化学品(非危険品)	化学品(非危険品)
2	化学品(非危険品)	機械・部品	機械・部品
3	機械・部品	化学品(危険品)	鉄鋼・非鉄製品
4	化学品(危険品)	鉄鋼・非鉄製品	繊維製品
5	繊維製品	雑貨	食品

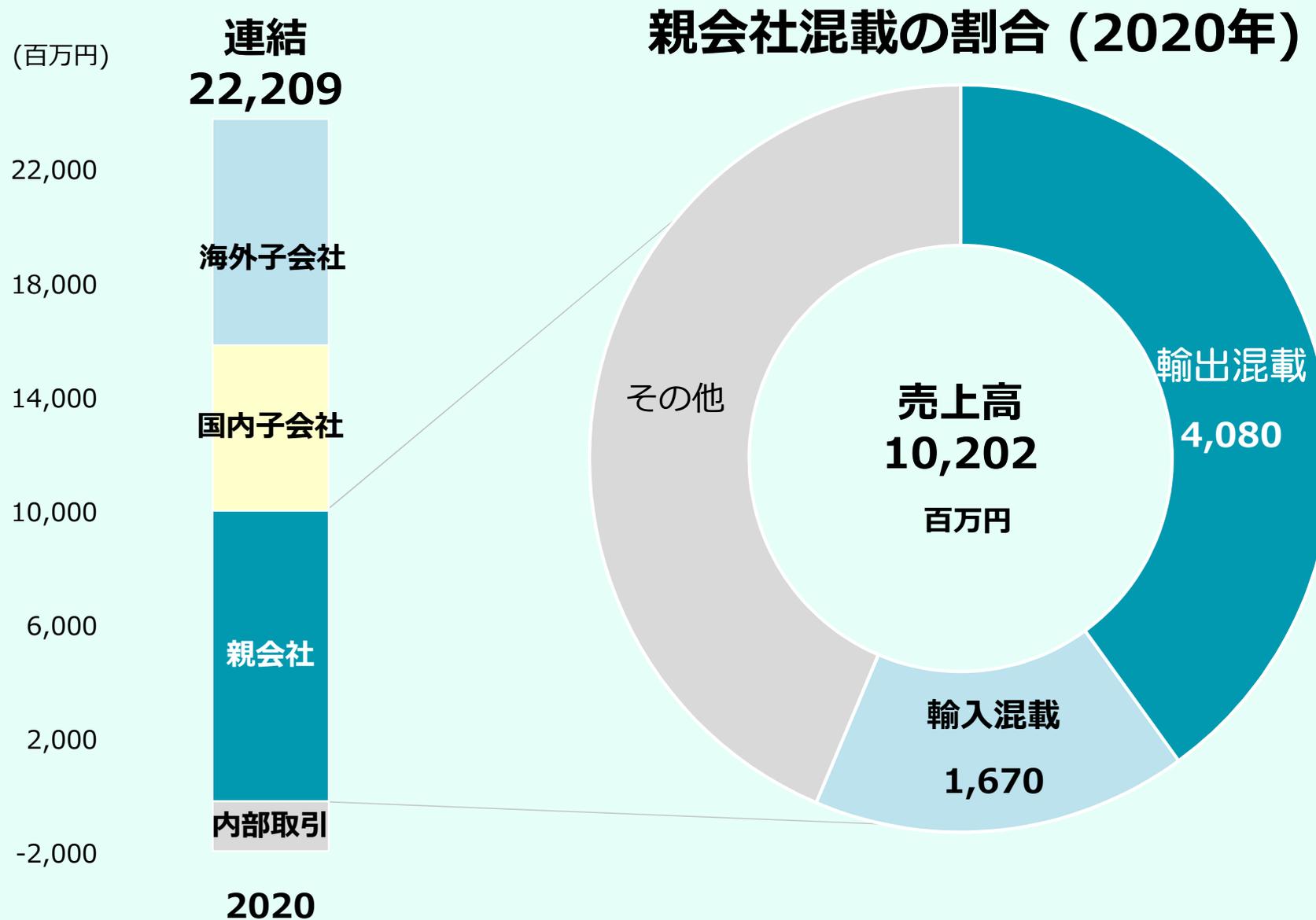
輸入フルコンテナではコロナ禍特有の品目が増加

- ・ 食材
- ・ マスク
- ・ 消毒液
- ・ DIY関連商品



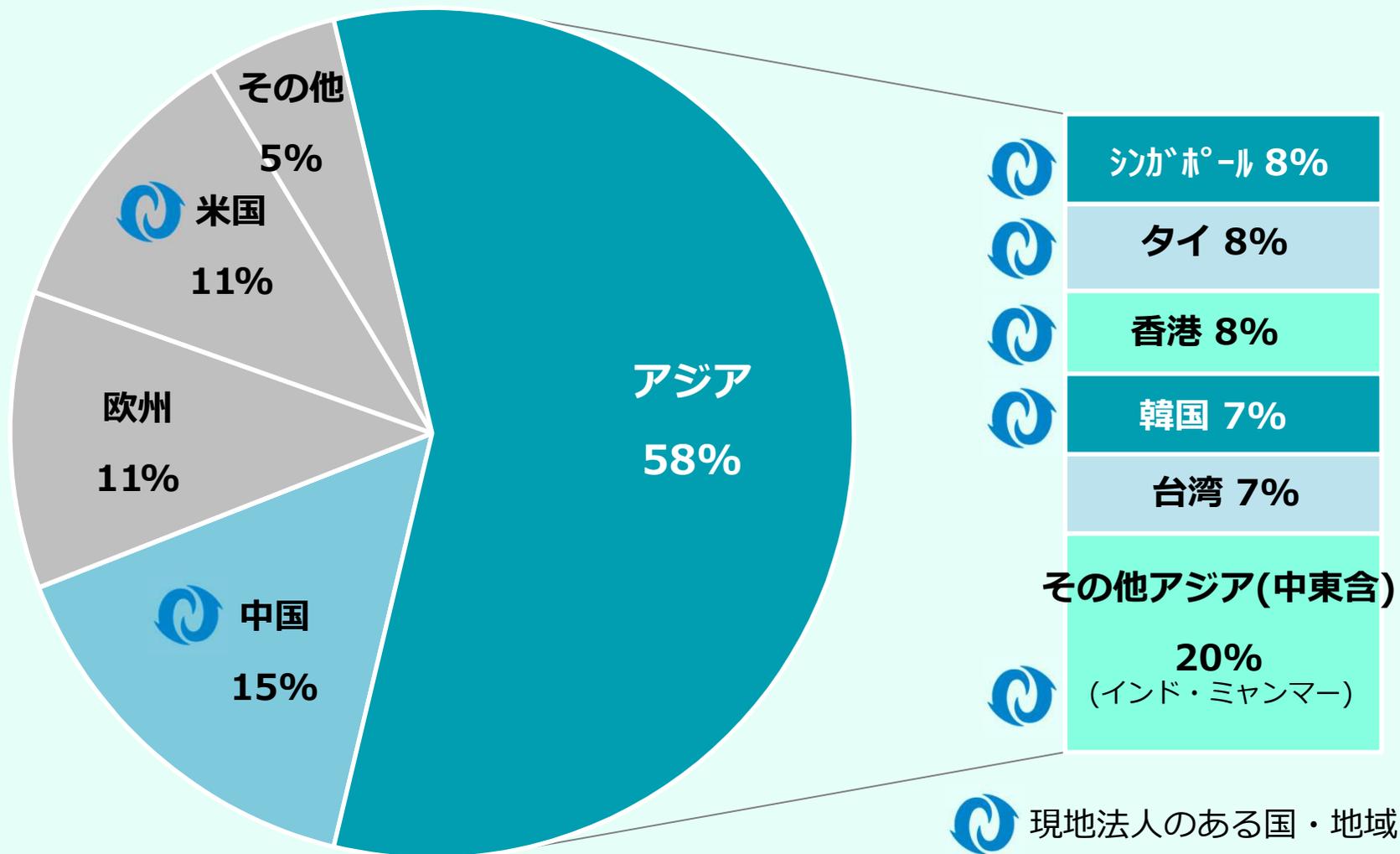
(当社グループ会社取扱い)

強み1. 収益性の高い海上輸出混載が主力商品

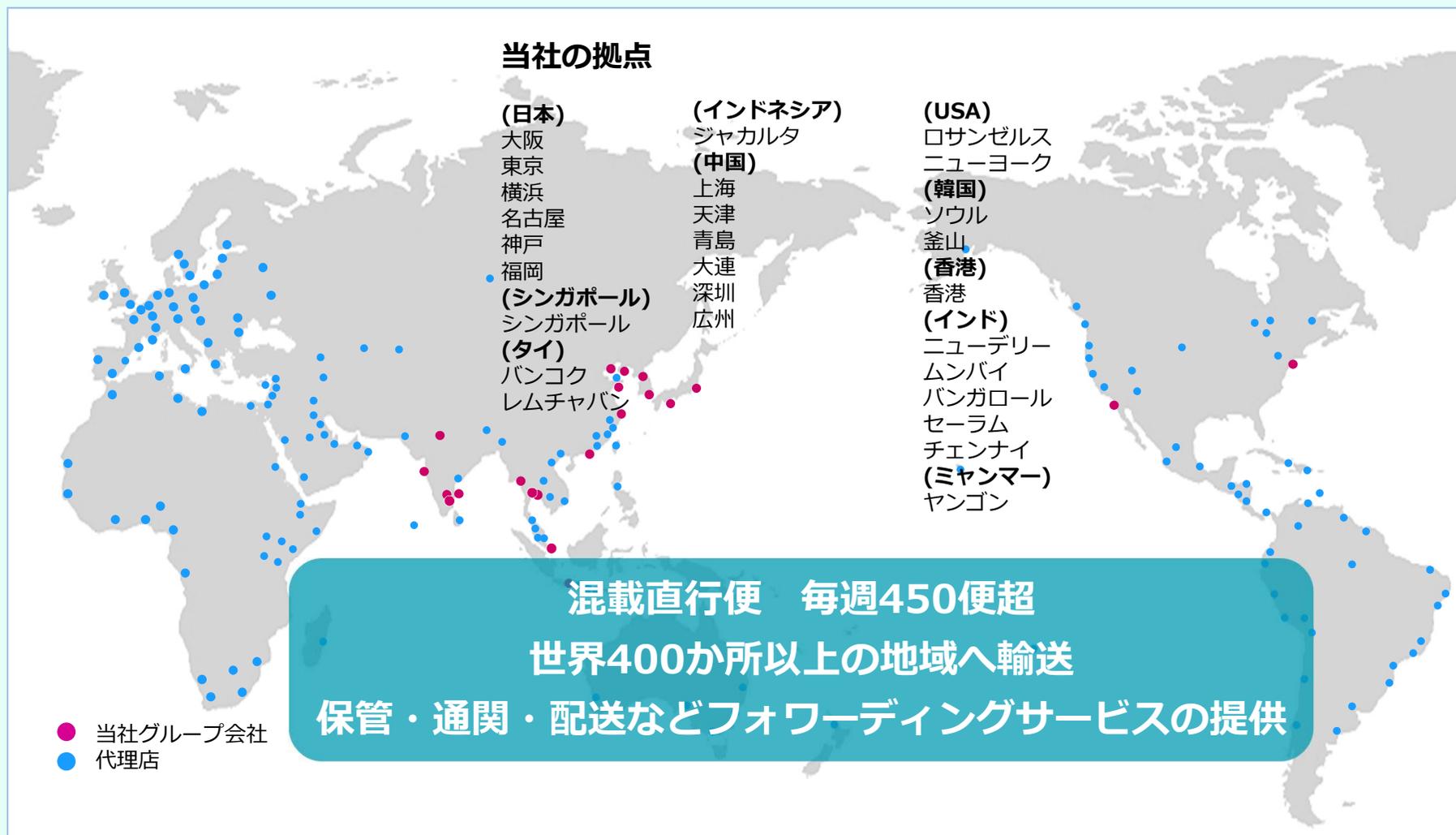


強み2. 成長を続けるアジア向け輸出が主力

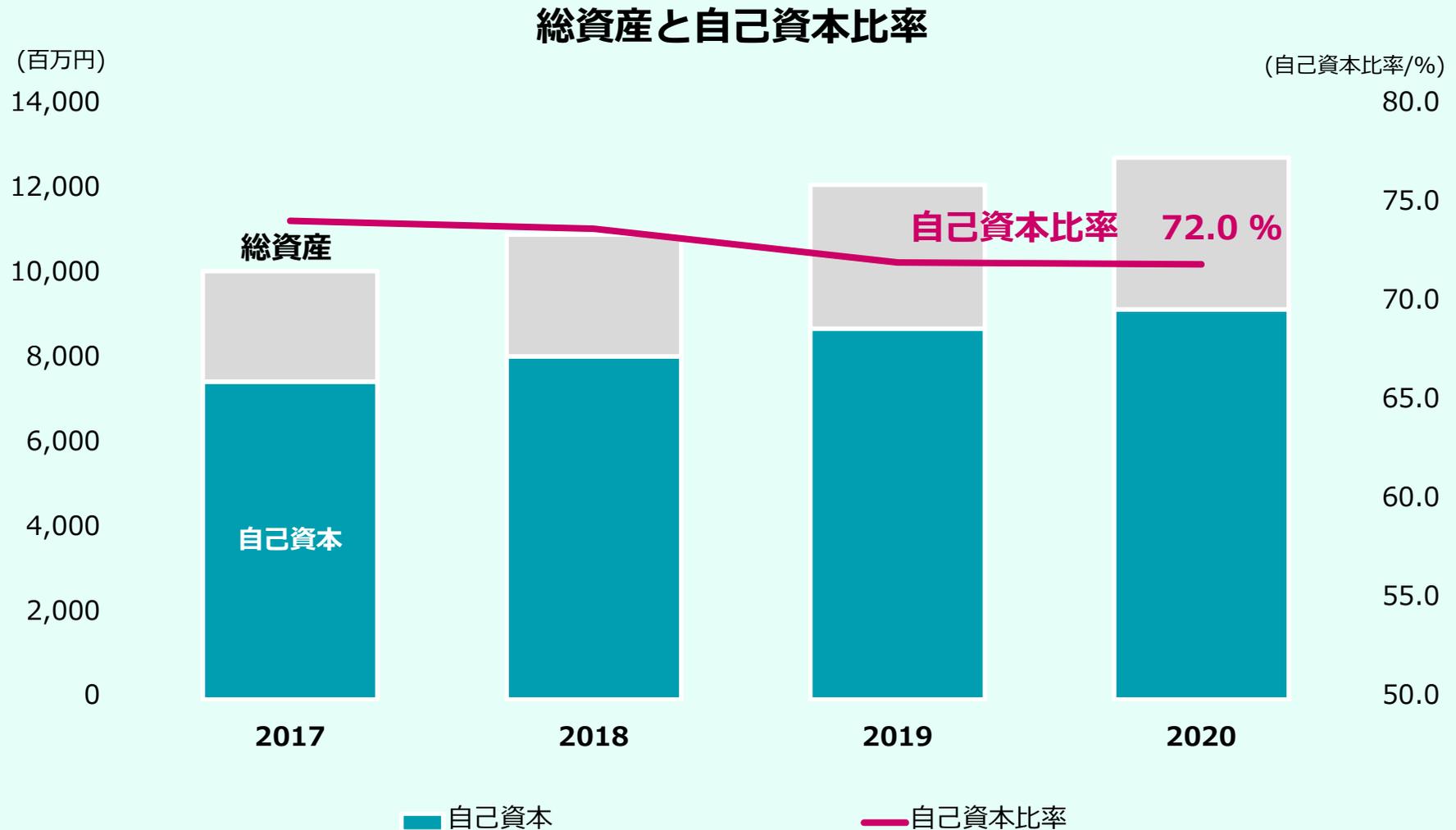
親会社エリア別輸出混載売上シェア (2020年)



強み3. 世界に広がるグローバルネットワーク



強み4. 力強い財務基盤(連結)





連結損益計算書・貸借対照表比較(2020)

(百万円)

	2020	科目	金額	科目	金額
		(資産の部)		(負債の部)	
売上高	22,209	流動資産	9,293	流動負債	2,326
		現金及び預金	6,807	買掛金	1,236
		売掛金	1,834	固定負債	593
営業利益	1,411	固定資産	3,491	負債合計	2,919
		建物及び構築物	2,504	(純資産の部)	
経常利益	1,484	<div data-bbox="898 852 1451 1254" style="border: 2px solid #008080; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center;"> <p>自己資本比率 72.0%</p> </div>		株主資本	9,307
				資本金	243
				資本剰余金	253
				利益剰余金	9,799
親会社株主帰属 当期純利益	850			自己株式	-989
				純資産合計	9,864
		資産合計	12,784	負債純資産合計	12,784



連結第2四半期実績(2021)

(百万円)

	2020/2Q	2021/2Q	対前年 増減率	対2Q修正計 画達成率	2021/2Q 期初計画	2021/2Q 修正計画 (6月23日)	2021 修正計画 (4月30日)
売上高	10,758	15,370	42.9%	102.5%	11,520	15,000	27,000
営業利益	613	1,662	171.1%	98.3%	770	1,690	2,310
経常利益	639	1,733	171.0%	99.0%	800	1,750	2,400
親会社株主帰属 当期純利益	439	1,160	164.3%	96.7%	560	1,200	1,680



グループ第2四半期業績ハイライト

単体

海上運賃の高騰、スペース不足が続く中、輸出混載の配船を維持したことが奏功。

混載の取扱量が増加し、単価も上昇したため売上・利益とも大幅に増加。

国内子会社

<ユーシーアイ>
海上輸送する重量物が航空にシフトとなるなど、航空輸出の取扱が増え、増収増益。

<フライングフィッシュ>
巣ごもり消費による食材の輸入が前年に引き続き好調。輸入もスペース確保と運賃上昇分により増収増益。

海外子会社

各現地法人で日本からの混載貨物が増加。更に取り組んでいるフォワーディング案件が上積みされ、増収増益。

北米航路月別海上運賃の推移(横浜)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2021年8月24日

年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	20ft	1,330	1,520	1,420	1,600	1,690	1,750	1,710	2,440	3,460	3,700	3,000	3,340
	40ft	1,510	1,760	1,750	1,970	2,130	2,130	2,210	2,710	4,380	4,870	3,930	4,800
2021年	20ft	3,620	3,450	2,750	3,650	4,500	7,760	7,370					
	40ft	5,100	4,850	4,350	4,910	5,960	9,840	8,890					

※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成



単体第2四半期混載売上高・売上単価・数量推移

※2017年を100とする

輸出



輸入



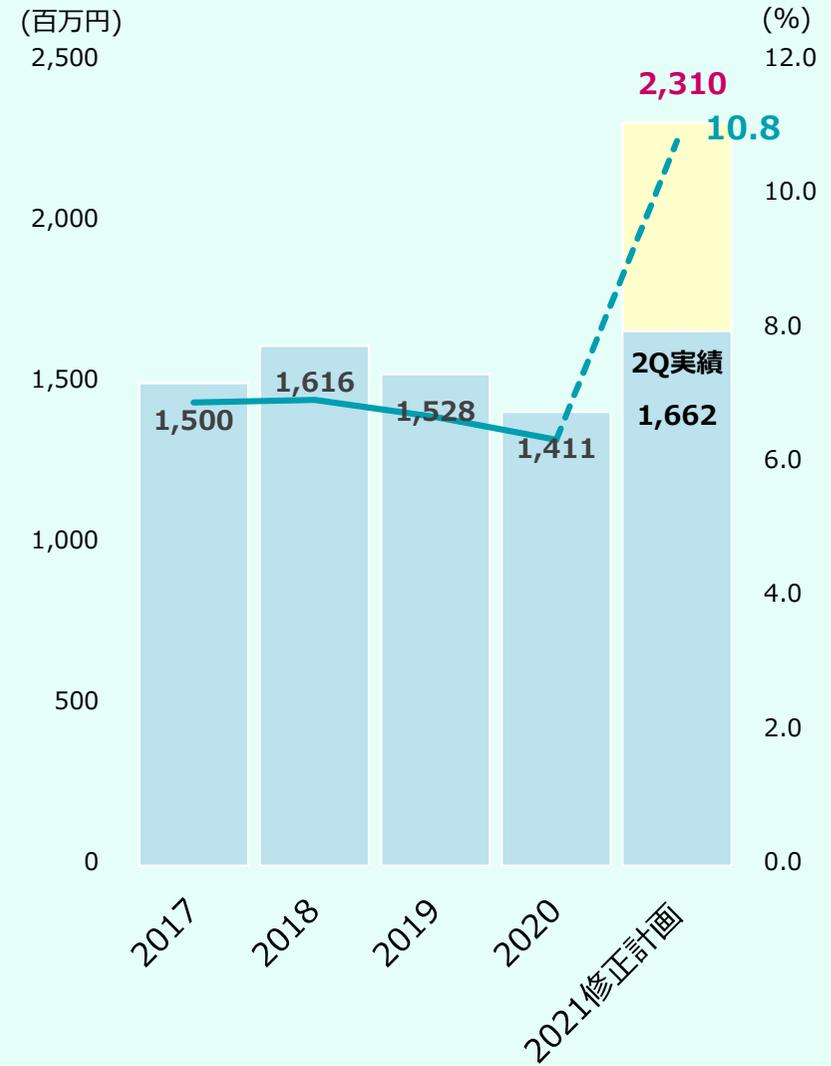


連結売上・利益計画

売上高



営業利益





中期経営計画連結数値目標 (2020~2022年度)

	2022年	2021年見込
売上高	300億円達成	270億円
営業利益率	7.0%	8.6%
ROE	14.0%	16.8%

営業スタイルの多様化

従来の訪問営業に加え、非接触型営業の強化・推進

- ・ **デジタルパンフレット**の充実
- ・ オンライン会議システムによる多拠点・遠隔地との商談
- ・ 当社HPから24時間アクセス可能な見積り・BOOKING機能



EC 運営の
貴方のネットショップ
本業に専念できる環境作り
国際物流をサポート

物流管理
納期管理

ネット通販の物流でお困りではありません



タイ
ラッカバン向け
自社混載サービス
開始のご案内



成長著しい深圳へ
直行便使用の海上混載を開始

深圳(蛇口/SHEKOU)向け
ダイレクト混載サービス開始

パールデルタ地域は
香港/深圳/広州
現地法人で完全サポート

サービスは内外トランスライン 輸出も輸入もお任せください!

現地法人スタッフが迅速かつ丁寧に対応 (日本人駐在員が常駐)
セメント貨物の手配がスムーズ (リードタイムの短縮を実現)
船へのドアデリバリーサービスが可能 (ダブルライセンストラック手配不要)
貨物もダイレクト混載サービスをご提供 (関東・関西・名古屋向け)

事業領域の拡大

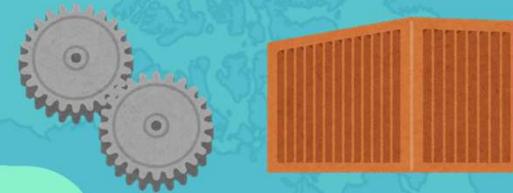
米国・香港・シンガポール

- ・食品関連のフォワーディング



タイ・インドネシア

- ・工業製品のフルコンテナ



日本

- ・フォワーディングチーム設置
- ・酒類販売免許を取得



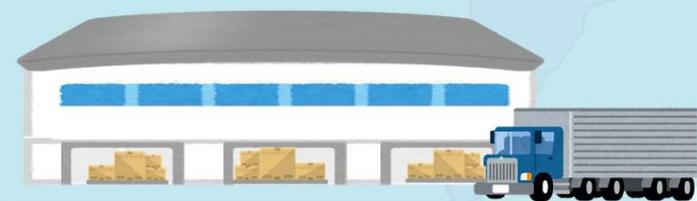
韓国・インド

- ・韓国3カ所、インド12カ所の倉庫事業



中国

- ・中国国内での日系企業の商品を保管、配送



釜山に冷蔵倉庫を新設

内外釜山物流センター株式会社に冷蔵倉庫を増築しました

- ・ 保税状態のまま貨物を倉庫に長期保管
- ・ 非居住者の貨物も保管可能



IR活動 (2021)

2月

2020年12月期
決算発表

2020年12月期
機関投資家向け
決算説明会
(野村IR)

3月

定時株主総会

個人投資家向け説明会
(野村IR)

4月

2021年12月期
第1四半期
決算発表

7月

2021年12月期
第2四半期
決算発表

8月

2021年12月期
第2四半期
機関投資家向け
決算説明会
(野村IR)

9月

個人投資家向け説明会
(野村IR)

10月

2021年12月期
第3四半期
決算発表

11月

個人投資家向け説明会
(logmiFinance)

上記書き起こしを
ホームページに掲載
(logmiFinance)

SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと
SDGsと行動規範を関連付け
グループ経営を推進しております
(経営理念・行動規範 2006年7月制定)



*内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協
調の精神を持って行動
します

当社
部長以上の女性比率
20%

- ・女性活躍推進
- ・シニア雇用
- ・育児・介護休業制度



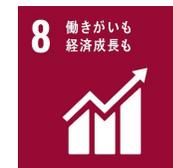
私たちは会社の仕事を通
じて社会への貢献を
果たします

- ・地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・環境負荷低減



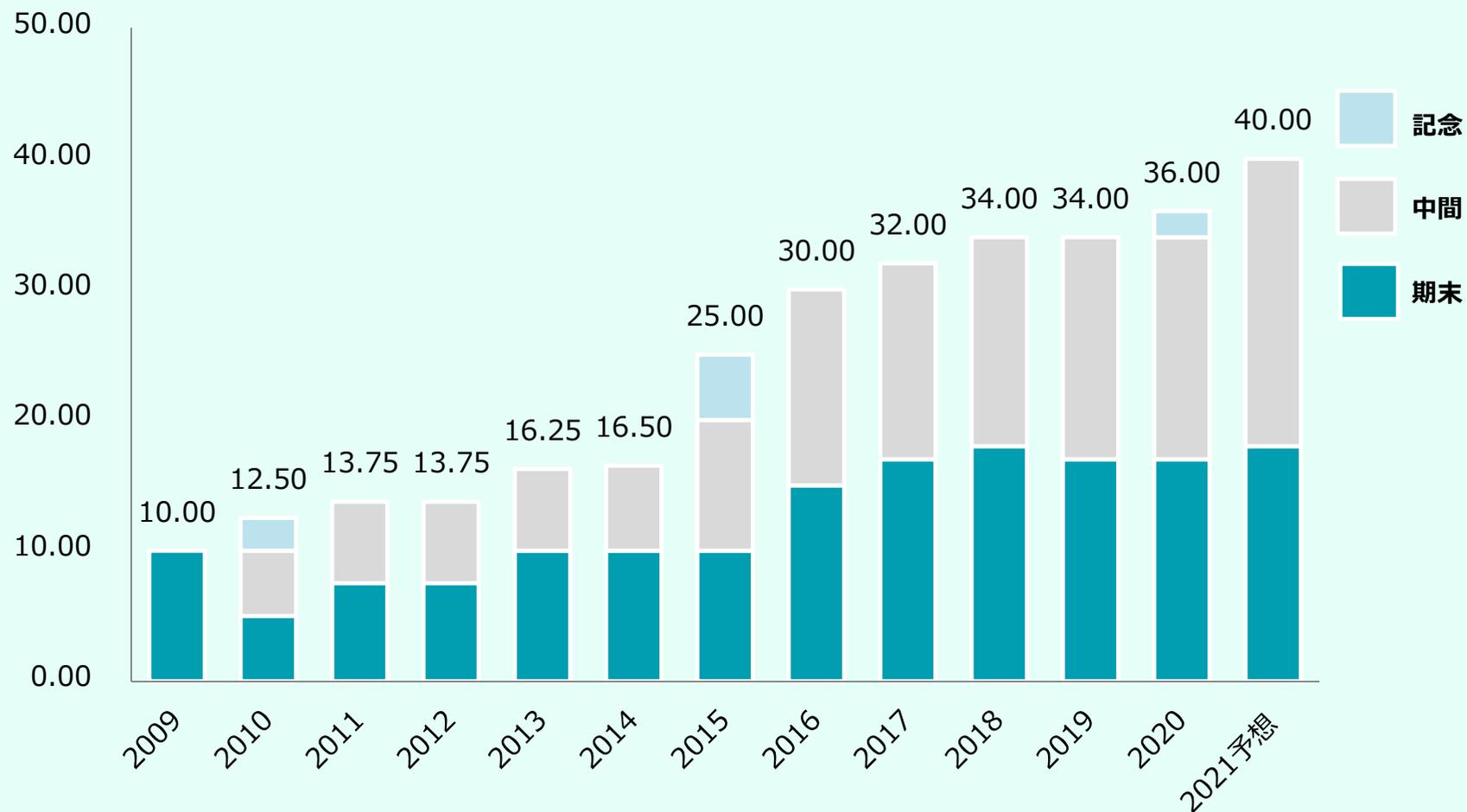
私たちはたゆまぬ努力
により自己の成長を図
り、社会を発展させて
ゆきます

- ・社会・経済の発展に貢献



配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

(ご参考) 株主優待制度



対象株主

毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された
下記保有株数に応じた株主様

100株~200株未満

カタログより1,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



200株~4,000株未満

カタログより2,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



4,000株~

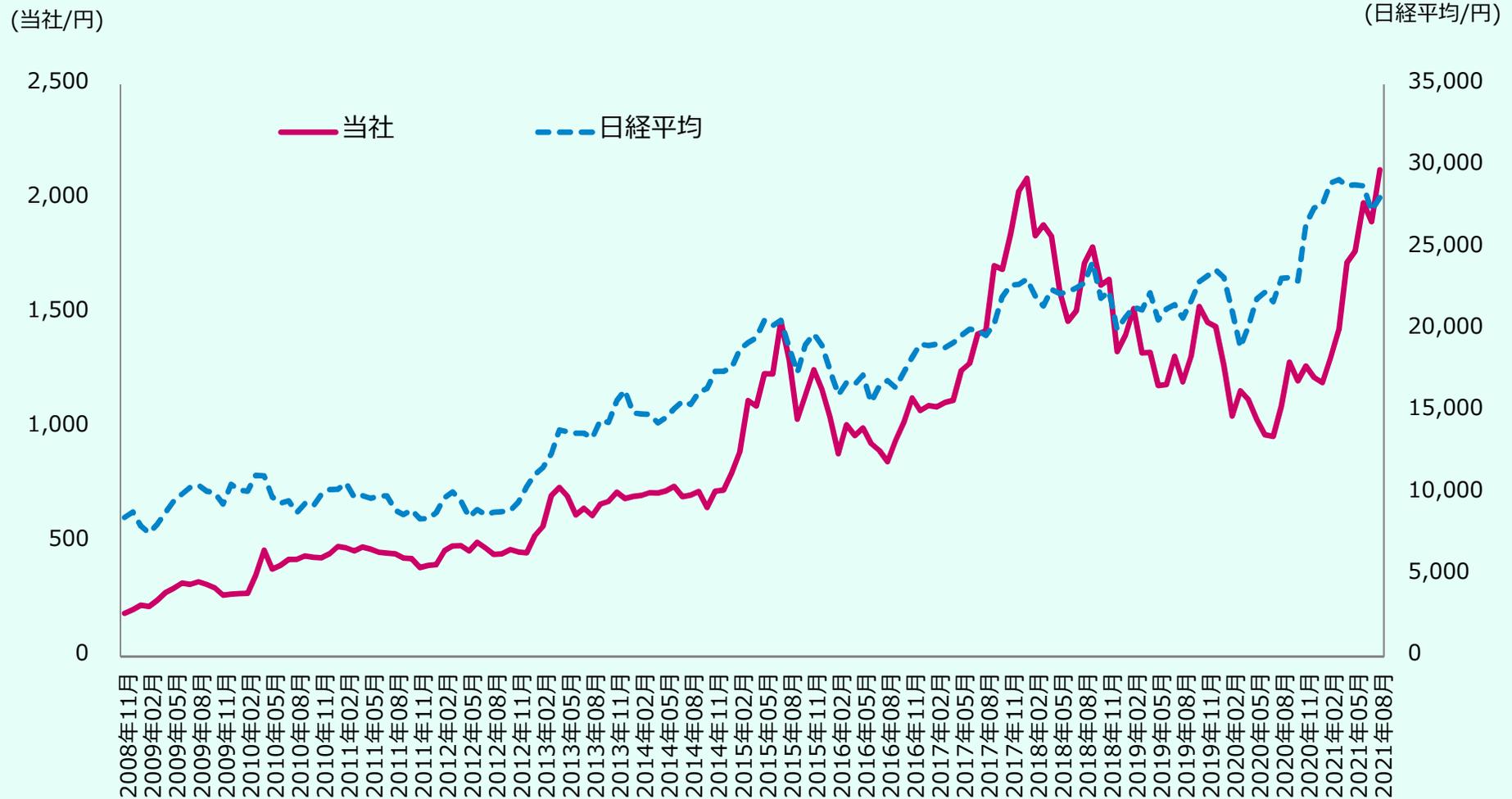
カタログより5,000円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



* 写真は2020年12月期株主優待カタログ掲載商品の一例



当社株価と日経平均の推移



* 2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo!JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

株価	2008年11月	2021年8月
当社	190	2,127
日経平均	8,512	28,090



本日のまとめ

事業内容

1. コンテナ船を利用した国際海上輸送
2. 日本発輸出混載シェアトップ

強み

1. 収益性の高い**海上輸出混載**が主力商品
2. **成長を続けるアジア**向け輸出が主力
3. 世界に広がる**グローバルネットワーク**
4. 力強い**財務基盤**

業績

1. コロナ禍においてほぼ前年並みの実績を確保
2. アフターコロナに向けた営業体制構築に着手
3. サービス領域の更なる拡大に注力
4. 今期は2Qまで大幅増収増益で推移

株主還元

1. 「株主への還元」は当社重要施策
2. 収益力を強化し配当性向の向上を目指す



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先

取締役 IR担当 田中 俊光

本社 大阪府中央区備後町2丁目6番8号
サンライズビル5階

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。

